

## ユニセフ T・NET 通信

2014 AUTUMN

No.58

公益財団法人 日本ユニセフ協会 学校事業部

〒108-8607 東京都港区高輪 4-6-12 ユニセフハウス TEL:03-5789-2014 FAX:03-5789-2034

Email: se-jcu@unicef.or.jp ホームページ http://www.unicef.or.jp

募金口座▶郵便振替: 00190-5-31000 (公財)日本ユニセフ協会 (送金手数料免除 ※窓口振込のみ)

待望の  
新作  
DVD!

# シュヌンシュヌン

(聞いてください)

—子どもたちからのメッセージ—

たくさん  
活用していただく  
ための…

## 内容のご紹介 & ポイント解説

### 主な内容

- 栄養不良
- 紛争 (ロスト・ジェネレーション)
- 女子教育
- 衛生・手洗い
- スラムの中の子どもの参画
- 公平性 (エクイティ)

Chapter

「シュヌンシュヌン (聞いてください) —子どもたちからのメッセージ—」は、開発途上国の子どもたちの現状や、ユニセフの活動を紹介した約16分のDVDです。気候変動や紛争の影響で難民キャンプで暮らす子どもたち、自分たちの手で社会を変えようと立ち上がった子どもたちなど、厳しい環境の中でも笑顔で頑張る子どもたちが登場します。



## 栄養不良

ソマリアに住む、4才のイスマイルくん。ソマリアを含むサハラ以南のアフリカでは、元々の厳しい生活環境に加え、近年深刻な干ばつが起きています。イスマイルくんが住んでいたソマリア南部では争いも起き、支援がとて届きにくい状態が続いています。イスマイルくんの家でも、干ばつで生活の糧である家畜がすべて死んでしまい、生活はひっ迫しました。

モガデシュにある避難民キャンプに家族とともに逃れてきたころ、イスマイルくんは重い病気にかかっている、目も開けられないほど体中がむくんでしまっていました。イスマイルくんのお父さんは、保健員にユニセフが支援する栄養治療センター (Feeding Centre) を紹介してもらい、イスマイルくんを連れていきました。

あまりに重篤な状態だった為、病院に搬送され、2週間

の入院が必要でした。その後、栄養不良を改善するため、

栄養治療センターで栄養治療プログラム (Therapeutic Program) を受けたイスマイルくんは、一年間で見違えるほど元気になりました。

イスマイルくんは幸運なことに、命を落とさずにすみました。しかし、世界ではイスマイルくんのようなたくさんの子どもたちが十分な栄養を取ることができず、亡くなっています。

※ユニセフは、2011年～2012年の1年間でソマリア国内の45万5千人の栄養不良の子どもを治療しましたが、その半分は重篤なケースで、南部と中部の子どもたちでした。





## 難民の子どもたち

レバノンにあるシリア難民のためのキャンプでは、じわじわと冬が近づいています。暑いイメージのある中東ですが、この地域では冬には雪が降ります。大した荷物も持たずに逃げてきた人たちも多く、裸足の子どもも多く見られます。紛争が始まって3年以上が経ち、子どもたちは学校にも通っていません。脳や心が大きく成長する年齢に、教育が受けられないことは、



彼らの一生に大きな影を落としかねません。



## 衛生・手洗い

手洗いや衛生を徹底することは、実は、少ないコストで大きな成果を挙げることができる、画期的な方法です。しかし、元々トイレや水道がなく、手洗いの習慣がない地域で、手洗いを習慣づけることは容易なことではありません。子どもたちは、楽しく手洗いを身につけるため、歌いながら手を洗います。



## 女子教育

国連総会関連イベントで、教育の重要性を訴える演説をするマララ・ユスフザイさん。マララさんは、2012年10月9日、友人2人と学校から帰宅途中に武装勢力に銃撃されました。武装勢力は、女子には教育は必要ないと考えている人たちでした。

ミレニアム開発目標のターゲット3は、2015年までにすべての子どもたち（特に女の子）が学校に通える環境を整えることを目標としています。そして、期限まであと1年と迫った今、男女の教育機会は、世界的にほぼ同等になりました。しかし、地域別に見てみると、女の子に教育は必要ないとする文化を持つ地域はまだたくさんあります。

女の子が教育を受けて、字を読んだり、計算ができるようになると、子どもの生存率が上がることが分かっています。さらに、教育は子どもたちの能力そのものを向上させるだけでなく、子どもたちが自信を持つことにもつながる大切なものです。



## スラムの中の 子どもの参画



インドのコルカタにある、貧しい人たちが暮らす地域。このスラムでは、スラムに暮らす子どもたち自らが、ポリオの撲滅のために立ち上がりました。ポリオは、手足がまひしてしまう事もある恐ろしい病気ですが、予防接種をうけることで防ぐことができます。インドは、長年この病気に苦しめられてきました。子どもたちは一軒一軒家を回り、その家の子どもがポリオの予防接種を受けたかどうか、確認して回ります。



ポリオの予防接種を受けたかどうか、確認して回ります。

### シュノンシュノンの活用法

英語の授業に! (※英語版あり)  
総合的な学習の時間に!  
道徳の授業に!  
社会科の授業に!  
特別活動に!  
現在、字幕版も作成中です。



DVD貸し出しは  
こちら

ユニセフライブラリー

03-5471-7091

または、最寄りの地域協定組織(巻末参照)までお問い合わせください。